

●とびっくす●

がんばれフレッシュ二級・木造建築士 二級・木造建築士免許証交付式

1月21日県庁において二級・木造建築士の免許証交付式が行われ23名の新建築士が出席しました。

今年の合格者は、二級建築士27名(受験146名)で、合格率は約18.5パーセントでした。なお、木造建築士は2名受験され、合格は1名でした。

初めに、県の森建築開発指導課長から、建築基準法や建築士法の改正点について詳しい説明があり、南海地震に備えるため、応急危険度判定士など、みなさんの協力をお願いしたいとお話がありました。

続いて、免許証の授与が行われました。新建築士の代表として岸田祥三さんが、緊張した面持ちで、県の森建築開発指導課長から免許証を受け取りました。

続いて、本会の佐藤幸好会長から、新しく建築士となった人たちにお祝いを述べるとともに、建築士として、環境を考えること、建築は自分一人の力ではできないこと、一生が勉強だというお話があり、記念品として配った「連」のバンダナの由来と建築士の連帯について熱く語りました。

建築士事務所協会の西田功会長からは、「今日から建築士の一員として頑張ってもらいたい、また、いつかは建築士事務所を開き、建築士事務所協会の会員にもなってほしい。今後の活躍に期待する」とのお話がありました。

次に、県建築開発指導課の河井技術課長補佐から、「建築士の心得」と題して、建築士としての社会的使命を自覚して責任ある仕事をしてほしいとお話がありました。

最後に、中村副会長から建築士会の活動についての説明があり、士会各支部から集まった青年部や女性部のメンバーが、各支部の会員の募集を行いました。

今回新たに会員となったのは次の方々です。

徳島支部 岸田祥三・奥田早苗・逢坂佳代・高原彰吾
板野支部 富永英智
阿南・那賀支部 八田政典
美馬支部 近藤 隆



建築士免許証の授与



新しく建築士となった人たち



佐藤会長の祝辞



各支部 青年部・女性部の紹介

ひょうたん島八景 その5

徳島支部 矢部 洋二郎

■ひょうたん島八景選定委員会

2の段階は、数多くの体験と着眼がほしいため、ひとりであれこれ考えるより、数人であれこれ考えるブレイン・ストーミングのような方法が適しています。

そのため、選定委員会を組織して、各方面からのアイデアをいただきました。そのメンバーは ひょうたん島やその周辺で活動しているNPOや団体、そして徳島大学建設工学科の協力を得て構成しました。

- ・徳島大学建設工学科都市デザイン研究室
- ・NPO法人新町川を守る会
- ・とくしま観光ガイドボランティア会
- ・NPO法人コモンズ
- ・NPO法人アクア・チッタ
- ・徳島県商店街振興組合連合会青年部

さて、会では、①選定された八つの場所の妥当性、つぎに、②八つの場所についての演出条件や楽しみ方を、ふだんの活動や生活の中で感じていることなどを出し合って話し合いました。

①については、アンケートなどの人気投票による候補が妥当と判断されました。

②については長考が必要でした。

例えば、三ツ合橋周辺についての「とくしま観光ガイドボランティア会」からの体験談があります。三ツ合橋は特徴的な形でよく知られていますが、案内して歩く時には橋の説明とともに、橋上からの大滝山、奥の三角形に見える眉山を紹介しているそうです。眉山といえは、遠くからの眉のようなシルエットの美しさを思い浮かべますが、ひょうたん島の西側部分からは力強い山のかたち、男性的な眉山が見えます。「？」と思われた方は、まち歩きが楽しい季節になった時に、三ツ合橋あたりへ出掛けて、このことを確認してみてもはどうでしょう。

事務局から、平成18年度から進めてきた「ひょうたん島・景観まちづくり事業」で収集した景観の情報を紹介してすすめました。

(ア) イベント・行事の情報や報道記事

(イ) 同上の情景・光景の2,901枚の写真

(ウ) 八景候補お探し隊での1,028枚の八景候補写真

写真による光景撮影は偶然の産物でもあり、また撮影者の主観・技量に大きく左右されることは当然のことですが、各班5名×6班編制で実施した八景候補お探し隊の8名の撮影担当者による結果であるので、偶然や主観によるバラツキを越えて、ひょうたん島の景観の共通す

る特徴を捉えていると判断しました。

■八景式の核心

ひょうたん島の景観を評価するため、じっくりと推敲を重ねた結果、景観を構成する要素を、次の14の要素に整理して、考えてみました。

ひょうたん島の川の景観を生み出している、(もの)×(もの)、(ひと)×(ひと)、そして(ひと)×(もの)の関係が、この表で、外枠として、飽和していると考えました。(もちろん、表には、他に多くの言葉を書き加えることもできますが・・・)

景を代表する優先的な要素は何か？ その要素(ことば)から、特定の情景がありありと思ひ浮かべられるようなら、適切な選択と判断できます。つまり、八景式という「後ろ2文字」に相当する「各景の楽しみ方や演出条件」として最もふさわしい、インパクトのある要素(ことば)を取り出せた、と。

護岸	青石、コンクリート、雁木
プロムナード	川面が近い、LED、散歩、ベンチ
橋	あいせん橋、三ツ合橋、鉄橋、伝説
建物	郷文、阿波銀行、三河家、県庁舎
アート作品	国文祭作品、一張羅
モニュメント	武士の情け、関寛斎の碑、ガス灯塔
ヨット・舟	ヨット、クルーザー、漁船
眉山(の眺望)	男性的な、最高の場所、シルエット
四季の緑	桜、城山、藩政の松、13本の松、サルスベリ、柳、櫻
水辺の親水性	魚が見える、川面が遠い・近い
音の風景	ユリカモメ、(踊りの)鳴り物、汽車
ひとと川とのかわり	周遊船、清掃、ウォーキング、昼寝ベンチ、川釣り、犬と散歩、
イベント・にぎわい	寒中水泳、イルミネーション、サンタが、灯籠流し、阿波踊り
近代化遺産	旧高原ビル、三河家、鉄橋・橋脚

「人気投票による八景候補」を思い浮かべながら、表の要素(ことば)を眺めてみると、つよい結びつきがある組み合わせが出てきます。例えば、(ヨット・クルーザー／眉山／アート作品・国文祭作品／ユリカモメ／イルミネーション・夕暮れ／プロムナード・川面が近い・散歩) → [ケンチョピア] というように。

これを [ケンチョピア=イルミネーションのともる夕暮れ時] としたのです。 -つづく-

「無 題」

板野支部 青木 忠雄

元来放浪癖があり、今までの旅を思い起こすと随分彼方此方へ行ったもので、今も尚、チャンスがあれば企画して実行に移しています。

私の旅の始まりは、中学卒業からです。自転車での四国一周一人旅、翌年は近畿一周一人旅、とにかく地図と時刻表は何時も机の上であり、知らない土地へ旅する事を想像し、頭の中でシミュレーションして遊び呆けていた頃が今はとても懐かしく、自分の行動力には我ながらただただ感心するばかりでした。旅を始めてからもう40年になりますが、余り遠くではないのですが、海外旅行も何度か経験しています。趣味が多いのも旅好きを助長しています。スキューバダイビング、スキー、カメラ、ゴルフ……etc.さすがにこの年になってスキューバは辞めていますが、スキーはまだ現役です。実を言うとアウトドアばかりでもなく、室内ゲームも嫌いではないのです。トランプ、麻雀、囲碁、将棋、テンテン？綺麗なお姉ちゃん一杯……など大好きなのです！

しかしこの様な「遊び」の事ばかりを書いてしまうと、昔で言う「おぶげんしゃのバカボン」としか見られずいわゆる放蕩息子で終わってしまう（*念のため自己弁護ではありますが私の場合は、アルバイトで小遣いを貯めての貧乏旅行でした。）

では仕事の方はどうなっているかと聞かれると、私の場合はちゃんと誤魔化しながら？出来ていると思っていますのです。この業界で働き出して既に35年、長い事やっているが仕事は好きです。「仕事のでけん奴は、遊びもようせん」と自負しているのです。

「遊び」の一環で50歳から、突然四国八十八か所の札所巡りを始めました。1年の内に何回も出撃出来ないで、まだ五十九番札所までしか行っていません。思いつくとカメラを持って出かける事にしています。遠くの札所へは1泊2日で行き、出来れば美味しいものを頂くのがまた楽しみの一つです。今まで廻った札所で印象に残ったお寺を幾つか紹介しましょう。

ガキの頃から一番札所から三番札所は、しょっちゅうチャリンコで遊びに行った記憶があり、良く知っているので省略。徳島県では十一番札所藤井寺から十二番札所焼山寺までの山道から眺める吉野川の風景が印象的で中々のものです。高い処から下界を眺めるのは大好きなのですが、現場で足場の上に登るのは余り得意ではないのです。その分声がでかいので助かっています。高知県の札所は東は室戸岬にある、二十四番札所最御崎寺（ほつ

みさきじ)から西は足摺岬の三十八番札所金剛福寺まで、随分な距離があり、車でも中々辿り着けないので途中で宿泊をしなければなりません、両御崎の寺から臨む太平洋は共に雄大なスケールで、お遍路の心を癒してくれます。四十番札所から愛媛県に入り、北へ向って行くと四十五番札所岩屋寺があります。ここはちょっと変わったお寺で、我々建築に携わる者としては、「何じゃこれは」と思いたくなるようなお寺です。山の岩肌を利用して建てられているのですが、建築するのに随分と苦勞をしたのではないのかなと想像します。今もメンテナンスが大変だろうなあと思っています。そうそう！この寺にはもう一つ面白い物がありました。それが写真の看板です。「まだまだこれからじゃ岩屋の坂と人生は」と書かれています。なるほどそこから岩屋寺本堂までの距離はたっぷりあり、また坂道の連続で歩いて登るのは大変で、とんでもない寺だと感心しきりでした。

この看板を見て「人生の道しるべ」と思うと、多少のユーモアがあり遊び心をくすぐられます。

私の札所巡りもまだまだ残っており、八十八か所全部完走するのは何時になるのか判りませんが、それぞれの札所でそれぞれの「先人の遊び心」を見つけてみたいと思っています。



●あなたが出番●

光の町阿南 クリスマスイベント バンブータワー

阿南・那賀支部 中飯 賀業

光の町阿南クリスマスイベントに参加して

我が町阿南市は、「光」「野球」をキーワードにしたまちづくりに取り組んでいます。商工会議所を中心とした光のまちづくり協議会があり、毎年クリスマスにはLEDを使った光のイベントを行っています。イベントのデザインはグラフィックデザイナー板東孝明氏が行いました。彼の案で地元で多い竹を使いバンブータワーを作成することになり、タワーの模型を私たちが作成する事になりました。有志が夜な夜な集まり1/10の模型を作りました。



バンブータワー 1/10の模型

坂東氏の基本デザインから中山氏が組立図を作成し、1/10サイズの竹の部材を輪ゴムとインシュロックを使い縛り組み上げました。

基本的な構造は3段建てとなっています。1段目は同じ長さの竹で三股を18組作り並べ2段目は6組の3股を乗せています。3段目は長さの違う2組の3股を乗せています。3股だけの構造では不安定なので横に籠を組むように同じ長さの竹で編んでいます。

私たちは模型までを担当しました。当初バンブータワーの高さは20mの予定でした。

しかし製作にかかる予算の関係で約13mのタワーに変更され牛岐城跡公園に作られました。



牛岐城跡公園のバンブータワー

私たちの作成した模型とは少し違いますがまずまずの出来と思います。来年は模型に忠実に20mのバンブータワーが出来ることを模型製作者として期待しています。



LEDで電飾されたバンブータワー

当初の計画では竹のフレームに電飾されフレームが夜空に浮き上がる予定でしたが、残念ですが電飾後の竹のフレームは見えません。当初このタワーは三日間で解体される予定でしたが好評によりしばらくは設置されています。活竹祭（3月）にも建てられる話も・・・

●女性部通信●

1月定例会のご報告と女性部会員近況報告

1月22日に女性部定例会が行われました。22年度の事業を振り返っての報告と、今後の計画についての話し合いが行われました。なお、事業の詳細についてはまちかどや部会誌で報告されております。

■平成22年度事業 中間報告

○中四国ブロック大会（島根）

女性部からは3名の参加でした。

出雲大社は式年遷宮の大改修の時期に当たっていて、改修の現場も見学することができました。

来年度は愛媛で開催されます。

○お菓子の家をつくろう

7月は三好支部との初の共同開催、11月は徳島市内で女性部の単独開催となりました。

参加する子供の年齢が低くなりすぎて大人の手が足りなくなっているため改善を要するとの話がありました。

活動を広げていきたいとのご意見もありましたが、予算の問題や現スタッフ数(10名)では参加者から不満が出ずに開催できるギリギリラインであるという指摘もありました。

○全国女性建築士連絡協議会（東京）

女性部からは5名の参加でした。

全建女20周年記念の講演がありました。

来年度は京都で開催されます。

○全国大会（佐賀）

バスの長旅でみなさんお疲れのようでした。

来年度は大阪で開催されます。

○建物見学会（犬島）

瀬戸内国際芸術祭期間中であり混雑が心配されたのですが、台風接近のため人が少なく、結果的にはゆっくり見て回ることができてよかったとの感想がありました。若い世代の会員の参加も多く楽しい研修旅行でした。

○部会誌発行

12月に有志により作業が行われました。

■23年度事業計画について

○学習会

季節ごとに1度ずつ行ってはどうかとの意見がありました。学習内容についてはみなさんからご提案いただきたいと思えます。

○中四国ブロック大会（愛媛）

6月11日～12日 ※詳細は判り次第ご連絡します。

■会員からの近況報告（敬称略・順不同）

・川内町榎瀬に、工房「遊」という遊び場を造って、遊び仲間と絵を描いたり、お茶をしたり・・・楽しみたい

と計画しております。

（佐々木才子）

・昨年の女性部建物見学会、犬島良かったです。今年の見学会はどこに行けるのか楽しみです。来年度もよろしくです。

（西改 亜紀）

・H22年度一級建築士試験に合格することができました。試験後はのんびりした時間を送っているので、そろそろ動き出さなければと思っているところです。

（蓑田 仁美）

・最近、いつの間にか経験を重ねた歳になったコトに気づき、何かしよう!!何ができるか!?考えた結果、経験の少ない方に料理の作り方をお伝えしよう!という事にしました。そして、料理教室、初歩の初歩コースの第1回目の日程も決まりました。2月に「空居」で開催します。そのための練習に、ちょっとウキウキの今日この頃でございます。

（濱田 知佐）

・今まででうれしかったことは、○学童保育児の放課後の住空間調査にかかわり、皆で64ヶ所の調査をまとめたこと。○友人の児童ホームの山崎園長から学童保育所の建築依頼が来たこと。○保育士、建築士、そして管理栄養士の経歴からたどり着いたところが、「お菓子の家づくり」です。気がついてみれば、いつもまわりにキラキラ輝く瞳を持つ子ども達がいまいました。かわいい学童保育の子ども達、いえ徳島じゅうの子供たちに「お菓子の家づくり」の楽しさを経験させてあげたい。これが、これからの私の目標です。

（内田 悦子）

・「チュモン」「チュノ」「ソドンヨ」「王と私」にて、大義と運命の勉強中。

（武田 初子）

・昨年末、仕事納め、娘とドリカムのコンサートに行ってきた。ドリカムの溢れるエネルギーは何処から生まれるのか、力を与えられる。その翌日、カードがアメリカで、不正使用されているとの連絡。幸い難は逃れたが、いつ、どこで災難にあうか解らない時代である。2011年、新年を迎え、心新たに「気は長ーく、心は○く、、、」愉しく過ごしたい。

（自分に言い聞かせているのです）

（佐田久 幸子）

女性部からのお知らせ

■定例会のご案内

3月26日(土) 15:00～17:00 士会会議室
23年度事業についてご意見をお願いします。

●士会だよりー本部●

第3回あるでないでええ景観！写真展開催

第1回～第4回あるでないでええ景観！フォトコンテスト入賞作品を展示します。今までの全応募作品をスライドショーで見られます。先着で粗品を進呈します。ほっとするそのひとときを「とくしまっぷ」から。

■日 時 平成23年2月26日(土) 27日(日)
9:30～17:00 (27日は16:30まで)

■場 所 徳島県立文化の森総合公園内
県立近代美術館1Fギャラリー

●士会だよりー本部●

現場検査員を公募します

本会は、従来からまもりすまい保険（住宅瑕疵担保責任履行法に基づく保険）の徳島県における事務機関として関係業務を行ってきています。

その主要業務である住宅の現場検査の担当者（現場検査員）に、この度欠員等が生じたので以下の要領で募集致します。

■募集する業務エリア（募集人員は各エリア1名）

- ・徳島市国府町
- ・美馬市及びつるぎ町
- ・海部郡

■応募要件

以下の全ての要件を満たしている方を優先します

- ①前記業務エリア内に主たる営業所を有していること
- ②1級建築士かつ建築士事務所における管理建築士として10年以上の実務経験を有していること
- ③当該検査業務に高い責任感を持って取り組み、他の業に優先して検査業務に当たることができること
- ④建築基準法、住宅瑕疵担保責任履行法及び品確法（特に住宅性能表示制度等）に精通していること
- ⑤応募時点で満60歳以下であること
- ⑥現場検査員研修に参加できること

■応募先・締め切り等

平成23年2月末日までに本部事務局まで

●士会だよりー本部●

建築見学会のご案内

団塊の世代以上の会員で組織する、自主研究グループ「セピア」は、建築士会の活性化を図るため何かお役に立てないかとの思いで結成いたしました。昨年7月より毎月1回の定例会を持ち話し合いを続けて参りましたが、この度下記の通り「建築見学会」企画しました。

■日 時 平成23年3月19日(土) 14:00

■場 所 佐那河内小中学校（佐那河内村役場前）
佐那河内村下字中川原30番地

■その他 駐車場は小中学校駐車場及び村役場駐車場を利用できます。スリッパは各自御用意下さい。

なお、自主研究グループ「セピア」の会員を募集しております。団塊の世代以上で関心のある方は、建築士会事務局までご連絡下さい。

●士会だよりー本部●

平成22年度活動報告会・講演会

■日 時 3月21日(月・祝) 13:30～17:30

■会 場 あわぎんホール5階 小ホール

■構 成 第1部 徳島県建築士会活動報告会
第2部 講演会

「コミュニケーションデザインと建築」

講師 中村 拓志氏

※詳しくは折込チラシをご覧ください。

●士会だよりー女性部●

女性部定例会のお知らせ

■日 時 平成23年3月26日(土) 時間は未定

■場 所 建築士会会議室

編集後記

- ◆男装にはまる。 (ゲゲケの源太郎)
- ◆野球少年になりたい。 (ぺぺい)
- ◆バッチリメイクをするとニューハーフみたいと言われるのは何故？ (ひとはたうさぎ)

建築士会本部行事案内 平成23年

2月	3月
1日 支部長・事務局長会議 (士会会議室)	1日 一日会 (士会会議室)
3～4日 中四国ブロック会議 (島根県)	9日 建築相談 ()
4～5日 第20回まちづくり会議&第8回まちづくりセミナー(東京)	16日 建築相談 ()
6日 防災訓練(渭北地区) (助任小学校)	18日 連合会定例理事会・士会長合同会議 ・臨時総会(予算総会) (東京)
9日 建築相談 (士会会議室)	19日 建築見学会(セピア) (佐那河内小中学校)
10日 総務委員会 ()	21日 講演会・地域実践活動発表会 (阿波銀ホール5F(旧郷土文化会館))
13日 定期講習会 (建設センター)	
15日 委託業務検討委員会 (士会会議室)	
16日 建築相談 ()	
17日 事業委員会 ()	
24日 地域貢献活動委員会 ()	
26～27日 「あるでないでええ景観・写真展」(文化の森近代美術館1F)	